

公共建築におけるSDGsに応える取組み ～教育・学習施設の新規整備とSDGs～

静岡市

4 質の高い教育を
みんなに



すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

『多様な人との交流を生み出す施設整備』

をテーマに、静岡市の近年の小中一貫校整備と生涯学習施設整備を紹介

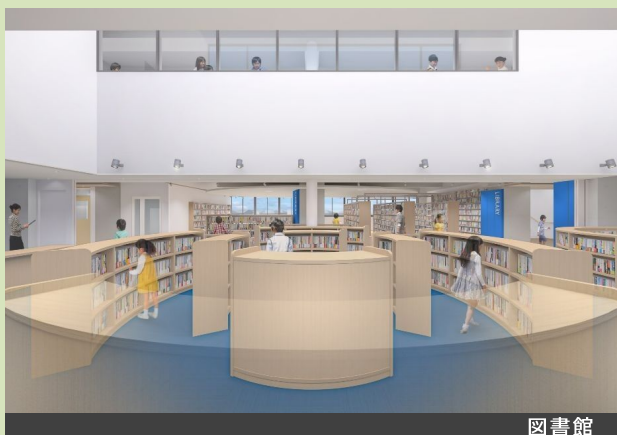
小中一貫校整備

静岡市では、「静岡市立小・中学校の適正規模・適正配置方針」に基づき、子どもたち同士で切磋琢磨できる、少なすぎず多すぎない一定規模の児童・生徒の集団を確保するため、特に子どもの人数の減少が著しい地域の学校について、適正規模・適正配置に取り組んでいます。

■設計中「蒲原小中一貫校」

基本情報

- ▶ 蒲原西小・蒲原東小・蒲原中を統合
- ▶ R C造 3階建 延床面積7,350㎡



図書館



外観

自ら学ぶ意欲を引き出す

- ▶ 建物の中心に図書館を配置し、学ぶ機会の多い仕掛けを生み出す



オープンステージ

交流を促進

- ▶ 小中交流スペースと図書館一体利用の大空間で小中学生が交流
- ▶ オープンステージの大階段を観覧席として、地域の人とも交流する場に
- ▶ 小中交流スペースに、ICTを活用し世界とつながる場を設置

※現在設計中のため、イメージ図は変更になる場合があります。

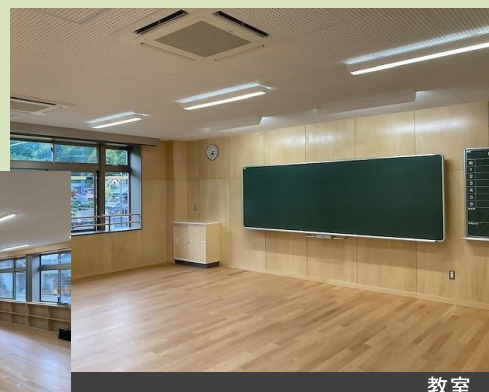
公共建築におけるSDGsに定める取り組み ～教育・学習施設の新規整備とSDGs～

静岡市

■ R4 竣工「両河内小中一貫校」

基本情報

- ▶ 中河内小, 和田島小, 西河内小, 両河内中を統合
- ▶ 鉄骨造 3階建 延床面積1,230.2㎡



交流を促進

- ▶ 小中学生が集い、地域住民と交流できるスペースを兼ねた広い図書館を設置
小中の区切りなく配架することで、発達段階に関係なく関心のある本を選べる
- ▶ 外部とリモート交流できるICT教室の設置により、山間地域でも多様な人との交流が可能に（他校の生徒, 専門家等）

生涯学習施設整備

生涯学習施設は、市民の皆さんの自発的な学習活動を支援し、学習活動を通じて地域の交流や連携を深め、市民主体のまちづくり活動を推進することを目的として設置されています。

■ 建設中「船越生涯学習交流館」

基本情報

- ▶ 鉄骨造 2階建 延床面積843.54㎡
- ▶ 事務室、会議室、多目的ホール、工作室、音楽室、調理室、和室、図書室
- ▶ 住宅街の中に位置し、近傍には小学校、老人福祉センター、公園があり、多様な人々が集まる地域

利用したくなる空間

- ▶ 富士山を望める位置に図書室を配置し、連窓を採用
- ▶ 木目調の天井材を利用し、温かみのある空間に

